ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

※本資料はふ頭建設時（昭和30年代）の調査結果です。

ボーリング名	No.6	調査位置				北　緯	
発注機関				調査期間		東　経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP -3.50m	角度		方向		地盤勾配		使用機種	試錐機		ハンマー落下用具	
総掘進長	21.10m								エンジン		ポンプ	

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	-3.70	0.20	0.20		砂質シルト	暗灰			
1									
2					礫混り細砂	暗灰			貝殻混入
3									
4	-7.80	4.10	4.30						
5									
6									
7									
8					砂	暗褐			貝殻少量混入
9									
10									
11									
12	-15.60	7.80	12.10						
13					シルト	暗青灰			貝殻少量混入
	-17.25	1.65	13.75						
14									
15									
16					粘土	暗青灰			所々に凝固物を挟む
17									
18									
	-22.30	5.05	18.80						
19	-22.85	0.55	19.35		砂	青灰			礫点在
20					泥岩	暗青灰			
21	-24.60	1.75	21.10						
22									

粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日

標準貫入試験 深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値 0 10 20 30 40 50 60
1.20 / 1.50				20/30	20
2.35 / 2.65				24/30	24
3.50 / 3.80				22/30	22
4.80 / 5.10				17/30	17
6.25 / 6.55				21/30	21
7.50 / 7.80				20/30	20
8.70 / 9.00				23/30	23
10.00 / 10.30				24/30	24
11.00 / 11.30				29/30	29
12.40 / 12.70				3/30	3
14.20 / 14.50				21/30	21
15.20 / 15.50				23/30	23
16.20 / 16.50				23/30	23
17.20 / 17.50				25/30	25
18.20 / 18.50				24/30	24
19.50 / 19.70				50/20	75

原位置試験 深度 m	試験名及び結果

試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日